

令和元年度第1回 宗像市市民文化・芸術活動審議会要点筆記

日 時	令和元年 7月 7日 (日) 13:30～18:00	
会 場	宗像市役所北館2階202会議室	
出席者	委 員	<input checked="" type="checkbox"/> 古賀 <input type="checkbox"/> 欠原 <input checked="" type="checkbox"/> 大澤 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田 <input checked="" type="checkbox"/> 秦 <input checked="" type="checkbox"/> 牟田
	事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 八木 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴狩 <input checked="" type="checkbox"/> 愛月

1. 文化スポーツ課長あいさつ

宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョンが令和3年度から新たな計画を策定することになる。今後は、まず本日の宗像市文化芸術活動事業補助金の審査に加え、昨年度の事業の振り返り、新たな10年ビジョンを見据えながら、皆様のご助言等を賜りたい。

2. 委嘱状交付

3. 委員・事務局自己紹介（別紙1）

4. 審議事項

(1) 会長、副会長の選任（別紙2）

宗像市市民文化・芸術活動審議会規則第4条の規程に基づき、会長及び副会長は委員の互選によって定める。

自薦、他薦がなかったため、事務局から会長に古賀委員、副会長に大澤委員を提案し、承認を得た。

(2) 審議会の運営

①議事録の作成

発言者の発言ごとに当該発言の要点を記録する方法とすることに決定。

②審議会の公開・傍聴

原則として公開することに決定。

(3) 令和元年度宗像市文化芸術活動事業補助金審査（別紙3、別紙4-1～4、別紙5）

①審査方法説明

事務局から説明。

②審査

【スタジオネクサス】事業内容説明

【C委員】過去に朝倉市で事業を実施した際に、朝倉市を選択してどのような効果があったのか、宗像市で実施する意義を教えてください。

【スタジオネクサス】朝倉市の廃校を利活用したアートスペースである共星の里で実施した。共星の里の数十年も地道に活動を続けられており、その活動理念や事業に賛同する部分があった。周囲の風景やギャラリーや美術館としての役目が、一般的なギャラリーや美術館との違う良さがあり、作品の見え方や周囲との風景が良い印象を持った。

宗像市はブルガリアと親交があると伺っている。グローバルアリーナがスポーツを通してブルガリアと交流していることもある。ブルガリアとの交流を東京や大阪といった大都

市ではなく、宗像市ではお互いが親密に触れ合うことができると感じたことと宗像市とブルガリアの親交があることから、宗像市で実施したいと考えた。

【D 委員】展示を予定している会場は、今までに利用したことがあるか。

【スタジオネクサス】CA ギャラリーは当団体の構成員が管理をしている施設であり、利用したことがある。グローバルアリーナは事前に相談して、ご協力いただくことになっている。

【D 委員】展示の環境として最適な場所か。

【スタジオネクサス】当初は有料施設である宗像ユリックスの展示室（美術ギャラリー一）の利用を検討したが、十分な予算がないため、宗像市文化芸術活動事業補助金の助成を受けることができなかった場合に自分たちで負担することは難しいため断念し、無料施設である市民ギャラリーを利用することにした。

【E 委員】普段の活動の中でワークショップを実施することもあるようだが、今回の事業においてはワークショップをする予定はないのか。また、宗像市民には、どのように芸術の面白さを伝えていくのか。

【スタジオネクサス】レクチャーを実施する予定であるが、ワークショップまでは考えていない。20 年程前に実施されたアンケート調査の設置を希望する生涯学習に関する施設という項目では、美術館が 1 位となっていた。他にこのような自治体はなく、宗像市民は芸術的な刺激は求められているのであろうと思う。この結果に対し、私たちの実施しようとしている展覧会が何等か形で良いものを提供できると思っている。また、会期中にダニエラ・トドロヴァ氏とトドル・トドルフ氏が来日を予定しているため、スライドレクチャーをしたいと考えている。

【A 委員】役務費の作品運送について、東京から宗像の往復と記載されているが、ブルガリアから東京までの運送費は不要か。

【スタジオネクサス】東京の駐日ブルガリア共和国大使館に既に作品が預けてある。

【D 委員】駐日ブルガリア共和国大使館で展示されている作品ということか。

【スタジオネクサス】昨年、軽井沢で展示された作品が保管されている。ダニエラ・トドロヴァ氏とトドル・トドルフ氏は日本で自身の作品を展示したいという希望があり、私たちは対応できなかったが、駐日ブルガリア共和国大使館と一般社団法人日本南東欧経済交流協会が共催で展覧会を開催し、その際に展示した作品が預けてある。

【F 委員】市民への周知はどのように行うのか。

【スタジオネクサス】ポスターなどの紙媒体とインターネットを使いながら、情報発信をしたいと思っている。

【F 委員】宗像市においてブルガリアとの交流は、グローバルアリーナで開催するブルガリアフェスティバルでの民族舞踊団との交流が行われている程度なので、市民に芸術的な面を周知することは難しいのではないか。

【スタジオネクサス】会場となるグローバルアリーナからは、周知に関するサポートをしていただけることになっている。その他にどのような周知方法が効果的かを教えていただければ、参考に進めていきたいと思う。

【F 委員】宗像市美術協会等との連携なども必要だと思う。

【D 委員】宗像市は地方都市として「芸術的都市」へと成長を遂げるポテンシャルがあるという思いを持たれていて、今後継続する事業の予定がないことが気になったが、今後の活動の中で「芸術的都市」への成長に資する予定はないか。

【スタジオネクサス】交流は一つ一つの積み重ねが大切であるため、今回の事業を実施して検討したいと考えているが、ブルガリアとの交流は続けていきたい。

【M. M. S. T】事業内容説明

【C 委員】会場としてコミュニティ・センターを考えているようだが、お寺や神社といった特別な場所ではなく、コミュニティ・センターを選択した理由とメイン会場と巡回会場で実施する内容を教えて欲しい。

【M. M. S. T】コミュニティ・センターは地域の寄り合いの場所となっており、お寺や神社といった特別な場所ではなく、より身近な場所を選択した。メイン会場においても巡回会場においても、台本を覚えて発表するのではなく、共通で体感できるプロジェクトを実施する。メイン会場で観る作品とは全く違うものを観ていることを意識できる仕組みを作りたい。

【C 委員】各地域のコミュニティ・センターとは、数箇所を実施するという事か。

【M. M. S. T】バスで巡回しようと思っており、2〜3 箇所で実施したいと考えている。

【D 委員】事業の実施方法について、共通の作品を観て、別々の作品を観ることになるようだが、両方の作品を観る人はいないということか。

【M. M. S. T】両方の作品を観る人はいない。

【D 委員】「分断」と「共生」をテーマとした事業であるが、この実施方法でそのテーマが成立することがイメージしにくい。また、宗像市文化芸術活動事業補助金は最長で 3 年まで継続して助成を受けることができる。来年度も継続して申請する希望があると記載しているが、この事業を 3 年間実施するという認識で良いか。

【M. M. S. T】その認識でいる。宗像市文化芸術活動事業補助金が同一団体からの申請を 3 年継続して助成を受けることが確認したいが、この事業としては 3 年程、継続して実施したいと思っている。

【D 委員】過去 2 年間に実施した事業と今回の事業は異なるということか。

【M. M. S. T】実施してきた事業内容は異なるが、分断と共有というテーマは同じ。

【F 委員】昨年度の事業の参加人数は何名か。

【M. M. S. T】20 名程だった。

【F 委員】役務費に DM300 通分を計上しているが、その成果が出るものか。市民の中にはインターネットに触れることができない者もいる。市民向けの周知として、考えていることを教えて欲しい。

【M. M. S. T】昨年、一昨年は市内の施設に設置した。また、シニアクラブや回覧板なども行ったが、私たちが宗像市を中心に活動している団体ではないという弱みもある。DM300 通は M. M. S. T が今までに関わってきた福岡県外の方々にも周知するためのもの。宗像市を知ってもらうために、今回も発送したいと考えている。

【F 委員】コミュニティ・センターで開催するのであれば、市民の目に触れる工夫が必要である。

【E 委員】次年度以降も宗像市を劇場として事業を続けていくことを希望しているが、どのような事業を実施する予定か。

【M. M. S. T】昨年度実施した事業は宗像市に滞在し、地元の人から話を聞き、地元の人と触れ合って作品を制作することができた。地元の人とより密にやり取りをしながら作品を制作していきたい。

【A 委員】一つの会場で同じ作品を観ていても、隣の人と違うことを考えているかもしれないということを共有することが今の社会ではなかなかないため、このような仕組みを考えられたということだが、同じ作品を観て共有するのではなく、敢えて違う作品を観て受け止めたものを共有する場を設けるという仕組みが、よく理解できない。

【M. M. S. T】一般的に劇場に足を運ぶ場合には、一つの空間に集まった観客が同じ体験をし、その体験の受け止め方の差異が生じる。今回はもう一つの劇構造を増やすことによって、別のストーリーを選んだ観客がお互いの体験を意識したい想像したりするような仕

組みを作りたい。隣人がどのような体験をしたかへの興味と想像力の醸成が共生への鍵となると考えている。

【D 委員】そのような考えに至った経緯として、昨年度実施した事業での気付きはあったか。

【M. M. S. T】地元の方々と密に連絡を取り、作家の招聘した演出家も大島や市内の各所の足を運び、宗像という地を感じながら作品を制作した。最終的に出来上がった作品を観た観客が他者を意識することができたかは分からない。そこで、観客も含めて市内を巡回することによって、共生という他者を意識することができる仕組みを作りたい。

【風と踊ろう】事業内容説明

【D 委員】個性を大切にされた表現とあるが、具体的にどのような活動によって個性を發揮できるようにするのか。

【風と踊ろう】講師が決めた振り付けを踊るのではなく、出演者自身が取り入れたい動きを考えるようにしている。歌う際も楽譜に沿ったリズムではなく、出演者が歌いたいリズムを取り入れるようにしている。

【D 委員】出演する大人は出演する子ども達とどのように関わるのか。

【風と踊ろう】大人も出演者の一人であるので、大人も子どもと一緒に考えながら、作品を作り上げていく。

【A 委員】もともと年に一回、屋外での事業を実施していたのか。

【風と踊ろう】子ども向けの屋外での事業は実施していた。

【A 委員】昨年、宗像市文化芸術活動事業補助金の助成を受けたことによって生かせることや、今回助成を受けることで充実することを教えて欲しい。

【風と踊ろう】助成を受ける前はアーティストを招くことが難しく、生演奏を取り入れることができなかったが、昨年度は助成を受けたことで生演奏を取り入れることができた。シニア世代をターゲットとしていたが、上手く呼び込むことができなかったことが反省点である。今回は大人を呼び込むような工夫をしていきたい。

【A 委員】大人を呼び込む工夫として、具体的に何をするのか。また、予算書においては何に反映されているか。

【風と踊ろう】チラシに昨年度の事業の写真を使おうと思っている。また、大人一人での参加はハードルが高いようなので、親子連れや祖父母と孫といった組み合わせで大人が参加しやすいようにしたい。

【A 委員】チラシのデザインなどに補助金を活用するということか。

【風と踊ろう】そのように考えている。また、舞台への出演経験のない方にとって、衣装代を支出することに抵抗があるため、補助金を充てることによって参加へのハードルを下げたいと思っている。

【E 委員】楽曲にバレエ音楽を多く使うようだが、意味があるのか。

【風と踊ろう】昨年度の事業は表現活動を楽しんでもらうために、朗読やミュージカル、踊りなどの幅広いジャンルを盛り込んだが複雑になり、屋外で実施したこともあり、声が届きにくかった。

その反省から今回は音楽中心ではなく、情熱的な踊りを中心として事業を実施したいと思っているため、このような選曲となっている。

【E 委員】シニア世代を呼びたいのであれば、選曲に工夫が必要である。昨年度の事業は生演奏が良かったという感想が見受けられたが、今回も生演奏を取り入れるのか。

【風と踊ろう】生演奏では演奏と踊りのリズムを合わせるものが難しかったため、今回は音源を用意しようと思っている。

【F 委員】雨天時は屋内で実施するのか。

【風と踊ろう】雨天時は延期する。昨年度は生演奏を取り入れるためにアーティストを確保していたため、雨天時用に別会場を設けていたが、今回は音源を用意するため、延期することができる。

【C委員】昨年度の事業は手を繋ぐことやミュージカルのセリフに関してもストレスと感じたという感想が見受けられたが、セリフが聞こえなかったということか。

【風と踊ろう】来場者にも参加してもらうために、セリフと一緒に発する場面を設けた。恐らく、それがお気に召さなかったのではないかと思います。

【C委員】強制的に参加させられたというイメージを持たれたのではないか。

【風と踊ろう】そのような捉え方をされたのかもしれないが、強制的な参加は求めていない。

【C委員】その他に否定的な意見や感想はなかったか。

【風と踊ろう】もう少し生演奏を観たかったという意見があった。

【D委員】個性を大切にするという前提があるが、参加者全員が同じ衣装を着ることが重要であるのか。

【風と踊ろう】参加者は公募するため、舞台に不慣れな人も参加することになる。ある程度、形に見せるためには衣装を揃える必要がある。また、衣装が異なっていると踊りの違いには目が向かなくなる可能性があるため、衣装は揃えて一体感を生みたい。

【D委員】衣装を着たくない子どもが居たら、どう対応するか。

【風と踊ろう】衣装を制作する段階で、その子が納得する衣装を制作したい。

【宗像ジャズ実行委員会】事業内容説明

【D委員】予算書に記載のイベント出店者出店料 10 件とあるが、会場とある店舗数か。

【宗像ジャズ実行委員会】県道東郷停車場線沿いにある店舗とフードカーの出店も含めた店舗数となっている。

【D委員】演奏が行われる会場はいくつあるのか。

【宗像ジャズ実行委員会】メイン会場はステージを設置する店舗駐車場になるが、少人数のグループの場合は 3 つ程の店舗内での演奏をお願いしようと思っている。

【D委員】それぞれの会場において、ステージマネージャーや舞台監督のような担当者は配置するのか。

【宗像ジャズ実行委員会】音響担当を配置する予定である。進行やトラブルが発生した場合の対応として、実行委員会のメンバーを配置したいと考えているが、実行委員会メンバーに会場として使用する店舗を営んでいる者もいるため、ボランティアスタッフを確保する必要がある。

【D委員】交通警備として 2 人分の警備費用を計上しているが、2 人で不足はないか。

【宗像ジャズ実行委員会】県道東郷停車場線の両端に配置しようと考えている。トラブルがあった場合の対応としては、この事業に協力をいただいている宗像市消防団や宗像市商工会の方々に協力をお願いする可能性はある。

【C委員】需用費に計上している印刷物制作には、チラシ、ポスター、パンフレットの制作経費か。

【宗像ジャズ実行委員会】昨年同様で考えるとその 3 点になる。パンフレットはコンサートのスケジュールも記載するため、制作のための費用と時間を要する。

【C委員】見開きの簡単なものか。冊子を制作するのか。

【宗像ジャズ実行委員会】昨年同様の地図も掲載した折り畳むパンフレットの制作を予定している。

【C委員】来場者数は何名を見込んでいるのか。

【宗像ジャズ実行委員会】昨年は 3,000 人だったが、今年も昨年同様 3,000 人を超え

れば良いと思っている。

【F 委員】報償費として 15,000 円を計上しているが、補助金が無くなった時のことも考えて、無償での出演をお願いしようと思わないか。

【宗像ジャズ実行委員会】補助金に頼らず自立して実施することになった場合、十分な収入がない場合は、無償での出演をお願いする可能性もあると思う。前回は無償での出演にご協力いただいた方が多かったので、今年は謝金を払いたい。

【F 委員】一度謝金を支払うと、次回以降も謝金を期待するのではないか。

【宗像ジャズ実行委員会】昨年度も大手飲料メーカー等からこの事業に関して問い合わせをいただいたが、多くの協賛金を貰えるような時代ではない。参加する店舗を増やすことによって収入を増やすといった工夫をしていきたい。実績を積み、参加する店舗を増やしていくことが課題だと認識している。

【E 委員】実行委員会のメンバー構成と、持続可能な事業とするためにどのように維持していくかを教えて欲しい。昨年度の事業では非常に混雑したとのことだが、来場者から否定的な印象を持ったという意見はなかったか。音楽を聴ける状況ではなかったというような声があったのであれば、リピーターを増やすことが難しいと思う。もし、そのような意見を受けていれば、今年度の対応策を教えて欲しい。

【宗像ジャズ実行委員会】実行委員会は 8 人で構成しているが、人数を増やすつもりはない。人数を増やすことによって、まとまりを欠くことは避けたい。昨年度の事業に関する否定的な意見は受けておらず、また実施して欲しいというような肯定的な意見が多数だったため、リピーターとしてお越しいただけると確信している。昨年度の課題を解決する必要があるため、県道東郷停車場線を歩行者天国とし、店舗駐車場をメイン会場とする。

【A 委員】出演料を 20 組分、出演者交通費 50 人分を予算計上しているが、1 組 2 人という計算か。

【宗像ジャズ実行委員会】そのように考えている。

【A 委員】どのような方々が出演するのか。

【宗像ジャズ実行委員会】宗像市出身の方、宗像市内で演奏活動している方、宗像市内で勤務しているが市外で活動している方など、宗像市に縁がある方に限定している。

【A 委員】アマチュアの方も含まれているのか。

【宗像ジャズ実行委員会】アマチュアも含まれている。自ら出演を希望している方に関しては、実行委員会で審査した上で判断する。

【事務局】各委員の審査結果をとりまとめた。点数としては全事業採択となる。とりまとめた表を確認いただき、条件を付すかを含めて意見交換をお願いしたい。

【A 委員】採択、不採択だけではなく、条件を付するかを審議していきたい。

【E 委員】ほとんどの委員が 1 点を付けている項目があれば、ほとんどの委員が課題だと認識している項目になるため、条件として付すべきではないか。

【A 委員】点数の高い方から検討していきたい。まずは、「宗像ジャズ 2019」について、1 点が付けられている項目があれば教えて欲しい。

【事務局】「⑥将来性 将来に向けた事業展開を行う中でビジョンを持っているか」という項目に 1 点を付けた委員が 1 名いる。

【A 委員】この事業に関しては採択で問題ないと思うが、よろしいか。

【全委員】良い。

【A 委員】付すべき条件・特記事項に記載されている内容もそれぞれだが、この内容であれば、条件として付すよりも宗像市市民文化・芸術活動審議会からの意見として、参考として添えることが適当だと思われるが良いか。

【全委員】 良い。

【A委員】 私は高得点を付け、応援したいと思ったが、ここまで計画しているのであれば、将来的に自立できるのではないかと思う。参加店舗の売り上げにも十分に貢献できる内容であると思われる。自治体からの助成を前提として成り立たせるものではなく、財源を多様化して頑張っていただけの印象を受けたので、将来的な自立に向けた取り組みを進められることを期待するというコメントを付けた。

【事務局】 昨年度は初めての開催であったため、商工観光課の\*\*\*補助金の助成を受けているが、市の助成がなくても運営できる協賛金や出店者出店料の収入があると思われる。昨年度は5,000円だった出店者出店料も、この事業により出店者側は利益を上げることができていることから1万円に値上げしており、団体としても工夫していると言える。今年度は店舗内でのコンサートに留まらず、店舗駐車場に仮設ステージを設置するために補助金の申請をしており、ステップアップのための申請といえる。

【D委員】 補助金の性格としては、ステップアップのために必要とするということは、とても良いことである。報償費15,000円も決して高額とは思わないが、ジャズミュージシャンがアマチュアかプロかを見極めが非常に難しい。何を以てプロとするのかという線引きは非常に難しい。むしろ、本来は15,000円以上の金額で引き受けるべきアーティストが15,000円で引き受けている現状ではないかと想像する。先程、牟田委員の仰る補助金が無くなったら報償費は0円になるのかという質問の意図は理解するが、補助金が取れない場合に報償費を支払えないリスクがあるのであれば、始めから無償で出演してもらった方が良いという判断は違うと思う。ここをステップアップして持続させるために資金調達すべきだと思う。

【F委員】 中州ジャズのように入場料を徴収するようなことも考える必要があるのではないか。

【D委員】 それも一つの方法だと思う。

【F委員】 実行委員会の人数が少ないが、出店者が増えたりした場合に人手不足になるのではないだろうか。

【E委員】 自立するためにも実行委員会体制を補強する必要があると思う。実態として、コミュニティ運営協議会や宗像市商工会の支援を受けているようだが、関係者は実行委員会には入っていない。協力者が実行委員会に入ることによって、今後、継続して事業を進めていく上でのビジョンが描けると思う。内輪の楽しみが大きなものになってしまったという印象であるが、余裕が無くなっていき、事故でも起きれば中止になる。そういうリスクを捉えておかないといけないのではないか。

【A委員】 体制作りは必要だと思う。しかし、実行委員会を増やすだけではなく、協力体制を構築する方が良い場合もあるので、地域性や団体同士の関係性を考慮して良い体制を検討しながら進めて欲しい。まだ2年目の事業であるため、今後きちんと整理していけば事業は末永く続き、地域も盛り上がり、ジャズも盛り上がるのではないだろうか。赤字の補填ではなく、次の段階へ行くための補助金としては期待が持てる。次に点数の高い「風と空と大地を感じるダンスパフォーマンス『翼』」について審議する。

【事務局】 「⑦広報・告知 事業に広報や告知を積極的に行なう内容が盛り込まれているか」という項目に1点を付けた委員が1名いる。

【F委員】 シニア層となぜ繋がりたいのか、どのようにして繋がるのかが見えなかった。

【E委員】 世代間を超えてパフォーマンスを楽しむことを目的としているのであれば、シニア層も含める必要があるだろう。しかし、バレエ音楽が中心である選曲や事業内容、告知方法を見ても、自分たちの方から歩み寄らなければ、シニア層を巻き込んだ事業を実施するのは難しい。

【C 委員】具体的な改善点がある訳ではないが、現状のままでは今以上の発展は見えない。本当にシニア層の参加者を増やしたいのであればその方策を取るべき。現状では、将来的なビジョンがないように思う。

【D 委員】団体の指す個性とは何か分かりづらかった。採択の可否とは別に「個性とは何か」ということを考えて欲しい。

【A 委員】私も個性的で無ければ採択できないという訳ではなく、意見として添えて欲しい。次に「ダニエラ&トドル with ネクサス展」について審議する。

【事務局】「②地域性 宗像市の長所・課題・特徴を踏まえた目的になっているか」という項目に1点を付けた委員が1名、「④市民向けの事業 団体の自己満足だけに終わらない市民向けの取り組みになっているか」が3名、「⑥将来性 将来に向けた事業展開を行う中で、ビジョンを持っているか」が2名、「⑦広報・告知 事業に広報や告知を積極的に行なう内容が盛り込まれているか」が2名となっている。

【A 委員】各委員の意見を拝見すると市民向け広報、他団体等との連携、宗像市で実施する理由という大きく3点のようだ。宗像市で実施する理由としては、ブルガリアフェスティバルが開催されているからというようだ。

【F 委員】ブルガリアフェスティバルを開催しているのは、民間団体ではあって、宗像市ではないと思う。

【事務局】民間団体と連携して実施するという趣旨。また、宗像市はブルガリア柔道代表のオリンピックキャンプ地になっている。宗像市とブルガリア、民間団体とブルガリアの繋がりがあるため、全く宗像市で実施する意味がない訳ではない。文化の分野では民間団体が実施しているブルガリアフェスティバルで繋がっており、新たな文化での繋がりが出てくるという印象を持っている。

【F 委員】グローバルアリーナが会場となっているが、どこに展示するのもかも疑問。

【E 委員】クラブハウスではないか。「④市民向けの事業」に1点を付けたが、現代美術は市民の関心が高まりにくいだろう。例えば、宗像市に触発された作品があったり、宗像市をテーマに制作した作品があったり、沖ノ島をテーマに作品を制作するワークショップがあると面白いのではないか。作品を知って欲しいのであれば、宗像市ではない場所で実施しても良いと思う。

【事務局】美術交流がテーマであるため、美術を通してお互いを理解する、お互いの文化を理解するという視点が盛り込まれていると思う。申請書提出の段階で聴取したが、現代美術の分かりにくさもあるだろうし、言葉の壁があるが、どのように解決するのかと尋ねた。言葉の壁は通訳を雇うことで解決し、作品についてはレクチャーすることだったので、どういう作品で、どのような想いで作ったかは、作家に来日してもらい話してもらう場を設けようとしているようだ。

【A 委員】CA ギャラリーは申請団体の構成員の管理する施設で、美術愛好家とのコミュニティができてきているようだ。市民との繋がり作り方は、あまり会を開かれていないように感じる。いつものギャラリーで実施している企画では、市民と繋がることは難しいだろうし、市民を繋ぐ工夫はレクチャー以外にも必要だろう。本件は条件とするか、意見とするか。

【D 委員】補助金という性格からすると条件は出さない方が良いのではないか。不採択にするかを迷った時に条件を付すかどうかを判断する必要があると思うが、委託事業ではなく補助事業であるため、条件は適さない。事業に介入することになる。

【A 委員】条件が達成できなかった場合は、助成をできないことになるが、その判断も難しい。

【事務局】意見としては、市民との繋がり作り方という点は伝えたいと思っている。

審査会では市民との繋がり作り方は質問されるであろうとは伝えていた。審査の中で、その点を深く掘り下げることがなかったが、団体の自己満足に終わらせないためにも意見としてきちんと伝えていた方が良く考える。

【D 委員】芸術的な側面の評価について議論したことがない。彼らの作品の価値が分かる訳ではないが、良い印象を持った。申請者側からすると市民との関わりや広報の方法で判断されるということは、審査する側はアートのことを理解しているのかという話になる。審査する側も謙虚にならなければならない。

【A 委員】写真で見せてもらったブルガリア人作家の作品は良かったと思うが、日本人作家の作品はよく分からなかったので何とも言えない。写真で見せてもらったような作品が現物として観ることができるのは、宗像市民にとって良い機会だと思う。しかし、伝わらない部分があるだろうと思うので、繋ぐ努力は必要。

【E 委員】現代美術ということが足を運ぶハードルになる人達を面白かった、次から現代美術の展覧会にぜひ行きたいという気持ちに変わる機会だと思う。そのための工夫を展覧会の中で実施して欲しい。

【事務局】そういう意味では、民間団体との連携が重要になる。ブルガリアフェスティバルの会期中に展覧会を開催しようと思っているようなので、主催者との連携や動線や案内の仕方に工夫が必要になる。

【A 委員】作品についても意見するか。

【D 委員】アクセシビリティの問題ではあるが、分かりやすくということはあまり言いたくない。分かりやすくすることが本当に良いことなのか。関わりを持つことは大切であるが、敷居を下げ過ぎないことも大切ではないか。分からないことは分からないで良いと思う。分からないことが悪いのではなく、最初から寄せ付けないことが悪い。

【F 委員】評価票に記載の評価の視点が判断の邪魔をしている。

【D 委員】高い点、低い点があることは悪くないと思うが、「④市民向けの事業 団体の自己満足だけに終わらない市民向けの取り組みになっているか」という項目があるが、観ている人が分からないから、企画者の自己満足だと判断をするのは誤っている。分からないという経験や、これは何だろうと考える経験が大切だと考える。宗像市で現代美術と出会う機会を、分からないものだという判断だけで嫌煙すると福岡市や北九州市に行けば良いという判断になってしまい、なぜ、宗像市で文化芸術活動事業補助金を助成しているのかという話になってくる。

【F 委員】文化芸術事業は、始めは自己満足で実施するものである。自己満足が根本にあって、広がって人と人との繋がりが生まれやすくなる。

【A 委員】私も始めは、「④市民向けの事業 団体の自己満足だけに終わらない市民向けの取り組みになっているか」について1点を付けていた。プレゼンでは伝わりにくい部分があったため1点を付けたが、ギャラリートークなど団体の自己満足だけに終わらないような企画を組んでおり、アドバイスを求めるような姿勢も見受けられたため、2点に変更した。現代美術に着いてこれなくても良いという姿勢ではなかった。手探りで何かしら考えてもらえれば、まずは良いと思う。

【F 委員】補助金は単年度の申請であるが、次年度以降は申請しないのか。もし、助成の対象とならなかった場合には、頑張らないのか。

【事務局】助成がなくても事業自体は実施するという話を聞いている。

【F 委員】宗像市の補助金を使って実施するのであれば、来年度以降も宗像市で実施して定着すれば良いと思う。

【A 委員】この事業に関しては他の地域に回るのだろうと思われるが、実施してみて繋がりを作れたら、違う事業を提案する可能性はあるのではないかと。

【D 委員】実施してみないと市民の反応も分からないし、次も宗像市でこの事業を実施する意欲が確実にあるとは言えない。

【E 委員】現代美術を宗像市民に鑑賞の場を提供することそのものが、市民向けの取り組みとして価値がある。宗像市内において現代美術を鑑賞する機会を設けることだけでも価値がある。さらに、レクチャーなどを取り入れることによって、現代美術と市民を繋げるという目的があると思うが、来年度はブルガリアの作家は招聘することはできないかもしれないが、日本の作家の現代美術の展覧会を引き続き開催していくと面白いのではないか。

【A 委員】では、今後の宗像市での展開についても期待をしたいと付記して良いか。

【全委員】良い。

【A 委員】最後に「vertical section:munakata」について審議する。私は64点と補助対象とする点数ではあるが、プレゼンから今年は本気で助成を受ける気がないような印象を受けた。助成金が取れたら開始するスケジュールのようで、ぼんやりした状態で申請されている。今までM.M.S.Tが宗像市内で事業を実施されてきた意義は十分にあると思っており、応援する気はあるのだが。

【D 委員】私も応援しているが、助成の対象となれば実施するが、助成の対象とならなければ実施しないのかなという疑問を持った。価値の定まっていない表現を宗像市内で出会う機会があることに応援したいと思っている。クオリティーや実施する側の意欲が重要になる。1年目、2年目の事業は良い挑戦だという印象を持っていた。集客は評価の1つとしてももう少し努力して欲しいと言いたいが、集客がないからといって悪い事業だとは思わない。集客が困難な環境の中で実施しているため、努力しても集客に結びつかないのであれば仕方ない。努力の仕方もあると思うが。集客のために、分かりやすい内容にして欲しい、親しみやすくして欲しいとは言いたくない。

【F 委員】過去2回、事業を実施しているが20~30人しか集まっていない。市民に周知して欲しいと伝えていたが、十分な周知がなされていないようだ。

【A 委員】市民への周知は大切だと思うが、昨年度の事業の際は、福岡の演劇人達が来場していた。それは、宗像市にとって良いことだ。宗像市の文化の土壌を発信できたという捉え方もできる。

【E 委員】40名の来客者を期待しているとのことだったが、